

まちの話題

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

【お申し込み】 情報課広報広聴係

TEL23-3069

美味しい笑顔がたくさん アウル大感謝祭

(10月15日)

美しいまち生き活きとした当別を創る会が主催して「まちの駅アウル大感謝祭」を開催しました。

ふとみ元風会のよさこいでイベントがスタートし、当別産の米と小豆の無料配布では、たくさんの方が行列を作りました。また、もちつきコーナーでは、大人や子どもが交代でもちをつき、40キロの餅が来場者に振舞われました。この他にも、本通り振興会が主催したビンゴゲーム大会、1升もちが賞品のじゃんけん大会も行われ、今年最後のアウルイベントを盛り上げました。



町民劇「石狩川」で最優秀賞を受賞

(10月8日)

去年11月に(社)当別青年会議所が手がけた町民劇「石狩川」が、福島県郡山で開催された(社)日本青年会議所主催の全国大会で最優秀賞を獲得しました。

町民劇「石狩川」は、地域開発部門にエントリーし、参加60団体の中から地域一体の活動が評価され、この部門の優秀賞に選出され、さらに各部門の優秀賞の中から最優秀賞に輝きました。

受賞にあたり、亀卦川理事長は「9人のメンバーで何もないところから始めた町民劇が評価されて嬉しい。これからも、今回の受賞を力に活動を広げていきたい」と意気込みを話してくれました。



町民劇石狩川

当別青年会議所が創立25周年記念事業として、本町ゆかりの作家本庄陸男による岩出山藩伊達邦直公主従が未開の地当別を開拓するまでを描いた小説「石狩川」を基にシナリオを作成し、上演しました。

劇には、4歳から81歳までの40名が出演。8か月の間に40回の練習を重ね、手作りの演劇で町民に大きな感動を与えました。



手作りのハーモニー ふくろう音楽祭

(10月8日)



今年で5回目を迎えるふくろう音楽祭が当別中学校体育館を会場に開催されました。

当中レディースハーモニーの3部合唱から音楽祭がスタート。会場には、合唱の透き通るようなハーモニー、吹奏楽の迫力のあるサウンドが響き渡ったほか、バイオリンやアコーディオンも登場し、たくさんの音色が来場者を楽しませました。フィナーレの出演者全員による「上を向いて歩こう」の合唱では、観客席から手拍子も沸き起こり会場が一体になりました。

10月1日からスタート ごみの有料化

(10月1日)



10月1日から家庭ごみの有料化が始まりました。

9月まで続いていた駆け込みのごみ出しから一転して、10月第1週の状況は、前年の同じ週と比べてごみの量が約半分に減っています。

これは、今までごみとして出されていた「びん・缶・ペットボトル」を資源物として回収するようになったことが要因です。

これからもごみの分別、リサイクルを徹底し、ごみの量を減らしていきましょう。

行ってきました コミバス利用感謝ツアー

(10月14・21日)



10月21日登別温泉にて

コミュニティバスの利用に感謝をしようと、町が主催して旭山動物園と登別温泉の2つのツアーを実施しました。535通の応募の中から、抽選で選ばれたそれぞれ15組30人ずつが参加しました。

参加者からは、「来年もこのようなツアーを是非開催してほしい」との声が上がりました。

町では、もっと利用しやすいバスになるよう、12月にダイヤと路線の改正を予定しています。

多くの方の利用でバスを定着させましょう。

立派な稲穂に育ったよ 稲刈り体験学習

(9月30日)



当別地区地域用水対策協議会が主催して水田発祥の地で稲刈り体験学習を開催。

6月3日に田植えをした稲が順調に育ち、黄金色の穂をつけ、小学生や北海道医療大学生など約40人が参加し、農家の方から教えられながら鎌を手に1ふさずつ丁寧に刈り取りました。

ここで収穫されたもち米は、10月15日に開催されたまちの駅アウル大感謝祭に提供されました。